



矢野中通信 7月号

暑さに負けない体をつくろう！

いよいよ夏休みが始まります。これからの長い夏休み期間中、猛暑も予想されますが、生徒諸君！暑さに負けず、学習、部活動に精一杯取り組みましょう！

早朝や夕方の涼しい時間帯でよいので、たっぷりと水分をとりながら運動をして、汗をかくことを「体に覚えさせる」と暑さがあまり苦にならなくなると言われています。暑さに負けない体をつくりましょう！

子ども達への声かけをしていますか？



長い夏休みを迎えるにあたり、去る7月9日（木）、本校体育館において民生委員・児童委員の皆様にもお越しいただき、地区懇談会を開催しました。

日頃から子ども達とのコミュニケーションをどのようにとればよいのか、というテーマのもと、グループで意見交換をしました。

「心に一生残る言葉」「勇気づけられた言葉」など、心が温かくなる素敵な言葉について交流を深めることができました。

「1秒の言葉」という詩は、2年生が道德の時間に学習した教材です。

①から⑥までに、どのような言葉を思い浮かべることができますか？正解というものはありません。参考までに小泉さんの原詩にある言葉は①はじめまして②ありがとう③がんばって④おめでとう⑤ごめんなさい⑥さようなら です。

1秒の言葉

小泉吉宏 作

「 ① 」この1秒ほどの短い言葉に一生のときめきを感じることがある

「 ② 」この1秒ほどの短い言葉に人の優しさを知ることができる

「 ③ 」この1秒ほどの短い言葉で勇気がよみがえってくることがある

「 ④ 」この1秒ほどの短い言葉で幸せにあふれることがある

「 ⑤ 」この1秒ほどの短い言葉に人の弱さをみることがある

「 ⑥ 」この1秒ほどの短い言葉が一生の別れになる時がある

1秒に喜び、1秒に泣く

一生懸命、1秒



「原爆ドームの絵を3,000枚以上描きたい！継続は力なり！」

7月3日（金）、矢野町にお住まいの原廣司さんを本校体育館にお招きし、被爆体験談をうかがいました。

この8月で78歳になられる原さんですが、自ら自家用車を運転され、これまでの25年間2,500枚を超える原爆ドームの絵を描かれ、その一部を生徒のために運んでいただきました。そして、原爆投下の翌日に爆心地に入り、肌で感じられた体験談をお話しいただきました。

これまでに5ヶ月の間に2つの病院で手術、治療を受けたという大病にもかかわらず、「マリナーズのイチローのように3,000枚を超える絵を描きたい！継続は力なり！」と、25年間描き続けられた思いを力強く語られた原さんの姿に、生徒は感銘を受けました。

この7月末まで、矢野駅の交流プラザに原さんの絵が飾られていますので、是非、ご覧ください。





「家庭・学校エコライフ」(環境学習)に取り組みます

本校では、環境学習を充実するため、環境庁（現環境省）の主唱による「環境月間（6月）」に合わせ、エコライフ

や環境学習の取り組み（広島市教育委員会）を実施します。今年度は、学校での「電気スイッチ・オフ運動」「水道

節水運動」として、「節電」「節水」を心がけるよう呼びかけをして取り組んでいきます。ご家庭でも、暮らしの中

でできることへの声かけをしていただけたらと思います。よろしくお願い致します。